

住宅模型演習					
科目名	住宅模型演習				
担当教員	高橋 二三雄	実務授業の有無	○		
対象学科	建築士学科	対象学年	1	開講時期	前期
必修・選択	必修	単位数		時間数	48時間
授業概要、目的、授業の進め方	建築空間の表現・伝達に必須である図面から立体をイメージできる知識・技術を学び模型を、作成することで、空間を創造するトレーニングのための実習 1. 座学→演習→添削と解説を繰り返し行い習得レベル差ごとの指導も適宜行う。 2. 平面を立体表現に起こすプロセスを解説・演習する。 3. 条件に則した模型製作の進め方の基本を理解する。 4. 最終的には、住宅の模型を作成し、評価、解説行う				
学習目標 (到達目標)	<ul style="list-style-type: none"> ・手を動かして、ものづくりに取り組み、模型づくりの基本作法を身につけます。 ・2次元の図面から3次元の建築物をイメージできる能力をトレーニングします。 結果、平面と立体の間を自在に往き来、創造する能力を養います。 ・共同制作で協調性を養います。				
テキスト・教材・参考図書・その他資料	①配布資料、 ＊製図用具、カッター各種、 その他、				
NO.	授業項目、内容		学習方法・準備学習・備考		
1	模型の種類と役割 ①自由な立方体を作成、 ②道具の使い方、 ③模型の種類と役割		方法：プリント、教材等を使って説明し、作図の演習。 ①～④の項目を理解し適正に作成、作図できる。 準備学習：教科書、プリントに示されている練習課題の予習と練習		
2	模型製作の基本練習－1 ①模型の収納箱を作る、 ②簡単な立方体を作る。		方法：教科書、プリント等の教材を使って説明し、作図の演習。 ①～④の項目を理解し適正に作成、作図できる。 準備学習：教科書、プリントに示されている練習課題の予習と練習		
3	模型製作の基本練習－2 ①パーツから多種形状を完成させる		方法：教科書、プリント等の教材を使って説明し、作図の演習。 ①～④の項目を理解し適正に作成、作図できる。 準備学習：教科書、プリントに示されている練習課題の予習と練習		
4	白模型製作の練習課題－1 ①パーツから家のカタチを作る。		方法：教科書、プリント等の教材を使って説明し、作図の演習。 ①～④の項目を理解し適正に作成、作図できる。 準備学習：教科書、プリントに示されている練習課題の予習と練習		
5	白模型製作の練習課題－2 ①図面から切妻屋根の住宅模型を作る。		方法：教科書、プリント等の教材を使って説明し、作図の演習。 ①～④の項目を理解し適正に作成、作図できる。 準備学習：教科書、プリントに示されている練習課題の予習と練習		
6	木造2階建ての白模型制作－1 ①パーツor図面から住宅2階建ての模型を作る。		方法：教科書、プリント等の教材を使って説明し、作図の演習。 ①～④の項目を理解し適正に作成、作図できる。 準備学習：教科書、プリントに示されている練習課題の予習と練習		
7	白模型の共同制作 ①共同制作で白模型を作り、コンペの練習とする。		方法：教科書、プリント等の教材を使って説明し、作図の演習。 ①～④の項目を理解し適正に作成、作図できる。 準備学習：教科書、プリントに示されている練習課題の予習と練習		
評価方法・成績評価基準			履修上の注意		
・提出期限 ・作品の精度及び丁寧さ ・グループ作業での協調性 期限を守る20%、成果品の評価60%、平常点20% 成績評価基準は、A(80点以上)・B(70点以上)・C(60点以上)・D(59点以下)とする。			2年次はコンペに参加します。その時の表現方法として活用できることを期待しています。 又、作業時の注意事項として、刃物(カッター)を使用するため、気を付けてください。 それから、接着剤やスプレーを使用しますので、服装に配慮願います。		
実務経験教員の経歴 建築、内装の設計業務に40年携わっている					